



伏虎中便り No. 7

平成26年11月10日

(伏虎中便りは、中学校HPにも掲載しています。)

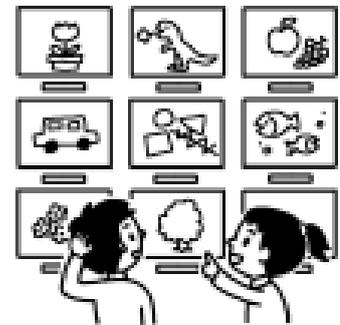
学校開放週間実施中 期間は、11月10日(月)～14日(金)の午前8時35分～午後5時です。普段のままの学校の様子をどなたでも自由にご覧いただけますので、お気軽にご来校ください。

14日(金)には、学習発表会を開催します。午前中は、本校生徒による発表や生徒作品展示鑑賞などを行い、午後は、落語家ダイアン吉日さんによる英語落語・講演を行います。午前、午後ともに校舎3階の体育館へお越しください。(上履きは不要です)

また、校舎玄関には、校内陸上競技大会の写真や、生徒会がまとめた「明日の和歌山市を築くジュニア会議」のレポートも掲示しています。保健室前には、美術部製作の壁画もできあがりました。生徒たちの頑張りを、ぜひご覧ください。

学習発表会プログラム (多少、時間がずれることがあります)

- 9:00 開会
- 9:05 生徒発表 ①職場体験について(2年生)
- 9:25 ②修学旅行について(3年生)
- 9:45 ③ダンス(2年女子)
- 10:30 吹奏楽部演奏
- 11:05 生徒作品展示鑑賞
- 12:45 ダイアン吉日さんによる英語落語・講演
- 14:15 閉会



学習発表会

11月14日(金)

☆育友会 伏虎バザー 11月16日(日)11時開場。多数のご来場をお待ちしています。

読書の秋ですね(教頭雑感)

秋が深まり、日の暮れるのもすっかり早くなりました。秋の夜長、読書にひたるのも楽しいものです。

私事ですが、この秋に読んだ本を紹介します。まずは、村上春樹の最近の作品『色彩を持たない田崎つくると、彼の巡礼の旅』。村上氏は世界的に有名で人気のある作家ですが、今回もノーベル賞には選ばれませんでしたね。

次に、アメリカの作家ジョン・グリシャムの A Time to Kill。20年ほど前のことですが、翻訳版『評決のとき』で彼に出会いました。彼の最新作 Sycamore Row を買うと、A Time to Kill の続編とのことだったので、この際、原作で読み直してみました。

話は変わって、中学生時代の思い出の本はビクトル・ユゴーの『レ・ミゼラブル』です。転校していくクラスメートが文庫本の上巻を私にくれました。一気に読んで、下巻を自分で買いました。今から思えば、思春期の私に大きな刺激と影響を与えてくれた一冊でした。

伏虎中学校では毎朝の読書タイムに取り組んでおり、どの生徒も落ち着いて本を読んでいます。さて、みんなどんなことを感じながら文字を追っているのでしょうか。朝の教室に、それぞれの思いが静かに漂うこのひと時を大切にしたいと考えています。